

(2) 支払方法

提供手数料の請求は、当室(細胞バンク部門)ではなく、バイオリソースセンター受付が行いますのでご留意下さい。

担当部署:

〒305-0074 茨城県つくば市高野台 3-1-1

独立行政法人理化学研究所 バイオリソースセンター受付

電話:029-836-9184 FAX:029-836-9182

E-mail:brc-gate@brc.riken.jp

振込先口座:

常陽銀行 谷田部支店 普通 6229211

口座名義: 理化学研究所(リカガクケンキュウシヨ)

★振込手数料につきましては、利用者負担にてお願い致します。

5. その他

(1) 輸送方法について

ほとんどの細胞は、発泡スチロール製の箱にドライアイスを含め、そこに細胞保存チューブを入れて輸送致します。例外として、ヒトES細胞及びヒトiPS細胞につきましては、ドライシッパー(液化窒素気相保存容器)にて輸送致します。

いずれに致しましても、到着後は可及的速やかに液化窒素タンクにて保存する等の適切な処置をお願い申し上げます。

(2) 成果発表の際のお願い

当室より入手した細胞を用いて成果を論文発表される場合、必ず当室及び文科省ナショナルバイオリソースプロジェクトへの謝辞を Acknowledgement 欄や Materials & Methods 欄に記載して頂くようお願い申し上げます。このことにより当該細胞材料に付加価値をつけることになり、さらに「ナショナルバイオリソースプロジェクト」や「理研バイオリソースセンター」の貢献を広く科学者に知らせることができ、社会的にも貢献することになります。また、研究成果(論文)を刊行された場合は、その情報を当室までご送付いただければ幸甚です。論文の Acknowledgement 欄や Materials & Methods 欄中には次のように記載して下さい。“○○○(リソース名) was provided by the RIKEN BRC through the National Bio-Resource Project of the MEXT, Japan.” または、「○○○(リソース名)は、文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクトの支援に基づき、理研BRC細胞材料開発室から提供を受けたものである。」

第4章 品質管理について

リソース事業の第一義的な目的は、リソースを多数の他の研究者に分与しなければいけないという開発者の負担の軽減、及び、リソースを一元管理することで利用者の利便性を高めることでありました。しかし、現在では、リソース事業の最大の責務は、リソースの品質管理を徹底して実施し、再現性を担保した高品質なリソースを研究者コミュニティに提供することにあると言っても過言ではありません。

1. マイコプラズマ汚染

培養系に細菌や真菌の汚染が発生した場合には容易に気付くことができますし、実験を続けることが不可能となります。一方、マイコプラズマは、細胞にマイコプラズマが感染しても、細胞と共生してしまいますし、検査せずには気付くことができません。それが故に、細胞バンク事業で寄託を受けた細胞の実に30%近くにマイコプラズマ汚染を検出します。

当室では、マイコプラズマ汚染検査を日常的なルーチン検査として実施し、マイコプラズマ汚染のない細胞材料をご提供しております。

2. 細胞誤認

細胞材料の多くは付着性細胞であり、形態的には、線維芽様細胞、上皮様細胞などと分類できるのみで、細胞の形態のみで細胞を識別することは不可能です。しかし、現実的にはどこの研究室でも、日常的な実験系においては形態観察しか行っておりません。そこで発生するのが細胞の誤認です。胃癌由来の細胞と思って使用していた細胞が実は子宮癌由来の HeLa 細胞であった、というようなケースが多数発生しています。以前はこうした細胞誤認を容易に検出できる方法がありませんでしたが、現在では、ヒト細胞に関しては、犯罪捜査にも用いられている遺伝子多型解析法 (Short Tandem Repeat (STR) 多型解析) を品質検査に導入することで、細胞誤認を比較的容易に検出できるようになりました。すべてのヒト由来細胞に対して STR 多型解析を実施した結果、当細胞バンクで寄託を受けた細胞の実に10%近くの細胞が誤認されたものでした。現在では、当細胞バンクのみならず、世界中の主要な細胞バンクがこの検査を導入し、ルーチン検査として実施しています。

このことは最近の主要雑誌でも取り上げられています (*Nature* 457: 935-936, 2009; *Science* 315: 928-931, 2007)。また、一部の学術雑誌 (*Cancer Research* 等) では、論文を受理する条件として、使用した細胞の品質検証を求め始めました。

当細胞バンクから提供した細胞を用いて発表する論文に関しまして、論文投稿前の再品質検査が必要な場合には、必要実費は利用者負担にてお引受け致します。電子メール (cellbank@brc.riken.jp) にてお問い合わせ下さい。

3. ウイルス汚染

ありとあらゆるウイルス感染の可能性に関して網羅的に検査を実施することは難しいですが、当細胞バンクではバイオハザードとなるウイルス検査を実施しております。

血液系細胞に関しては、HIV, HTLV-1 の検査を実施しております。

肝臓由来細胞に関しては、HBV, HCV の検査を実施しております。

一方で、癌細胞株の特性を大きく変えてしまうようなウイルス感染も報告されています。

Young, D.F., et al.: AGS and other tissue culture cells can unknowingly be persistently infected with PIV5; A virus that blocks interferon signaling by degrading STAT1. *Virology* 365; 238-240 (2007)

これにつきましては、大変大きな問題であると認識をし、当細胞バンクで扱っている癌細胞株に上記のウイルス(PIV5)が蔓延していないかを検査しましたが、幸い、検査したすべての細胞で陰性でした(*Hum. Cell* 22; 81-84, 2009)。

4. 幹細胞の品質管理

ES 細胞や iPS 細胞に関しては、従来の細胞品質管理に加えて、未分化性や分化能などの特性解析が必要不可欠なものとなります。いわゆる「細胞の標準化」です。これに関しては、現時点ではきわめて流動的であり、日進月歩の状況にあると言えます。従って、コミュニティの動向を踏まえ、コンセンサスが形成された品質検査については迅速に対応すべく準備を進めております。

5. その他

細胞バンクが品質管理をすることは重要な責務ではありますが、ユーザーサイドでも品質の維持に心がけて頂く必要があります。提供した細胞をきわめて長期間にわたって培養し続けることは、細胞に変異が蓄積し、細胞の特性を変化させてしまう原因となります。従いまして、ご提供した細胞につきましては、先ずは初期ストックを作成し、一定期間の培養を経た細胞は廃棄し、改めて初期ストックの細胞を使用することを強く推奨致します。そして、初期ストックが無くなった場合には、改めて細胞バンクから入手するようにして頂きたく存じます。これは、当細胞バンクからご提供している細胞に限ったことではございません。研究者コミュニティに、再現性のある細胞材料を使用した研究が根付くための方策であるとお考え頂ければ幸甚です。

第5章 申込書類と問合せ先

1. 寄託・譲渡、提供申込書類について

(1) 寄託・譲渡

下記ホームページをご参照下さい。

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/deposit/kitaku.shtml>

ご不明な点等ありましたら、下記宛にメールを下さい。

cellbank@brc.riken.jp

(2) 提供

細胞材料毎に書式が異なりますので、各々につきましては、ホームページをご覧下さい。

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/>

http://www.brc.riken.jp/lab/cell/distribution/cell_order.shtml

一般細胞 (RCB)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/rcb/>

日本人健常者由来細胞 (HEV)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/hev/>

園田・田島コレクション (HSC)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/hsc/>

後藤コレクション (GMC)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/gmc/>

ヒト臍帯血 (HCB)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/hcb/index.shtml>

ヒト臍帯血由来 CD34 陽性細胞 (C34)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/hcb/index.shtml>

ヒト間葉系幹細胞 (HMS)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/hms/>

動物 ES 細胞 (AES)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/aes/>

遺伝子トラップ法による変異を有するマウス ES 細胞

http://www2.brc.riken.jp/lab/mouse_es/

受注生産品ですので、受注してからご提供までに数カ月を要しますこと、ご了承下さい。

ヒト ES 細胞 (HES)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/hes/>

動物 iPS 細胞 (APS)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/aps/>

ヒト iPS 細胞 (HPS)

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/hps/>

2. 申込先、問合せ先

〒305-0074 茨城県つくば市高野台 3-1-1

独立行政法人理化学研究所 バイオリソースセンター受付

電話:029-836-9184 FAX:029-836-9182

E-mail:brc-gate@brc.riken.jp

3. その他

細胞の培養方法や細胞の特性などに関するご質問は、下記宛にメールを下さい。

E-mail:cellqa@brc.riken.jp

第6章 各種サービスのご案内

1. 技術研修のご案内

当室では「ヒトES細胞に係わる技術研修会」及び「ヒト iPS 細胞の凍結保存法(簡易ガラス化法)に係わる技術研修会」を定期的実施しております。下記のホームページをご参照下さい。

<http://www.brc.riken.jp/inf/kensyu/index.shtml#cell3>

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/hps/seminar0904-06.shtml>

2. ホームページのご案内

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/>

3. ニュースレター配信のご案内

新規に提供を開始した細胞の情報、既存細胞の付随情報に関する新しい情報、提供日の変更等の情報を、月に1回程度、配信しております。配信をご希望の方は、下記宛にメールを下さい。

E-mail: cellbank@brc.riken.jp

4. その他

利用者登録について:

利用者登録は、本カタログの情報解析技術室ページをご参照頂き、上記の当細胞バンクホームページからご登録下さい。利用者登録の際にご希望を頂けば、その後、カタログ、ニュースレターなどの情報をお届け致します。

第7章 よくある質問

<使用機関における倫理審査は必要か？>

「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」における対象試料の定義は次です。「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に用いようとする血液、組織、細胞、体液、排泄物及びこれらから抽出したDNA等の人の体の一部並びに提供者の診療情報(死者から提供されたものを含む。)をいう。ただし、学術的な価値が定まり、研究実績として十分に認められ、研究用に広く一般に利用され、かつ、一般に入手可能な組織、細胞、体液及び排泄物並びにこれらから抽出したDNA等は、含まれない。」

当室で扱っている全ての細胞は連結不可能匿名化されており、ほとんどの細胞が上記の対象外試料の定義に該当しますので、使用機関における倫理審査は不要です。ただし、臍帯血、間葉系幹細胞等、一部の細胞につきましては使用機関の倫理審査が必要となりますので、ホームページ等でご確認をお願い致します。

<細胞の増殖が悪い！>

細胞をご提供した後に最も多い質問が、「細胞の増殖が悪い」又は「細胞が起きない」というものです。ご提供している細胞の中には、細胞特性として増殖能力がきわめて低い細胞もあります。細胞をご使用になる前に、ホームページ等で細胞特性をご確認のうえ、寄託者指定の培養液、培養方法にて培養をして頂きたく存じます。

<発送日>

発送日は原則として毎週火曜日です。火曜日に当細胞バンクから発送しますので、近隣のユーザーには翌水曜日、遠方のユーザーには2日後の木曜日又は3日後の金曜日にお届けできます。しかしながら、当方の都合によりまして発送しない週もございますので、下記ホームページにてご確認下さい。

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/plan/>

<提供手続きに関して>

各細胞の提供手続きに関しましては、ホームページ TOP 画面のサイドバー(http://www.brc.riken.jp/lab/cell/distribution/cell_order.shtml)の他、同じく TOP 画面の、各細胞毎のアイコンをクリックして頂くと、具体的な流れや必要書類のダウンロードが可能ですので併せてご参照下さい。

<使用培地に関して>

ご提供しております細胞の培地・添加物のメーカー・品番等に関しましては、下記ホームページにてご確認ください。

http://www.brc.riken.jp/lab/cell/rcb/med_table.shtml

尚、血清(FBS)のメーカー・Lot に関しましては、当バンクで使用中のものをお答えすることは可能ですが、当バンクより分譲してはおりませんので、ご了承下さい。

<培養方法に関して>

ご購入いただいた細胞の、融解操作を含めた培養方法に関しましては、ホームページの下記サイトをご参照下さい。

<http://www.brc.riken.jp/lab/cell/manual/>

<培養条件に関して>

各細胞の培養条件に関しましては、それぞれのデータ画面をご参照下さい。また、当細胞バンクでは原則として寄託時の条件で培養を行っており、それ以外の条件での増殖能等の確認は行っておりません。従いまして、他の培地で培養する場合は、必要量だけ実験用培地で培養し、残りの細胞は維持用培地で培養することをお勧め致します。

補足: 申込書記入方法およびオンライン入力

1. 申込書類の記入方法

- 一般細胞 (RCB) の書式の記入方法です。
- 細胞材料提供依頼書 (書式 C-0001)

20090610

RIKEN BRC CELL BANK

(書式 C-0001-1)

細胞材料提供依頼書

年 月 日

独立行政法人理化学研究所 バイオリソースセンター
細胞材料開発室 御中

支払い方法が決まっている場合は、○をつけて下さい。

下記の細胞を提供願います。提供にあたっては別紙提供同意書記載項目を遵守します。
支払い方法は (公費・校費、科研費、その他) です。

依頼者と異なる場合はご記入下さい。

依頼者氏名 (英名)	送付先氏名 (英名)
職名 E-mail	E-mail
所属機関	
前室課連座名	
住所 〒	
TEL	FAX

生物資源同意書の「利用者」と同じ方をご記入下さい。

各リソースの「Restriction」の記号をご記入下さい。

No.	細胞材料名	アンプル数	Restriction

細胞材料開発室からの
発送日は
 特に指定しません。
 年 月 日 (火曜日) に願います。

発送日の指定がある場合はご記入下さい。
その場合は、発送予定表より選択して下さい。
発送日は、こちらからお知らせいたします。ご希望に添えない場合もございますがご了承下さい。

すでにMTAを締結している場合: 提供同意書 (MTA) No. _____ RM _____

研究課題名: _____

(「生物遺
産記事項があれば」)

この依頼書1部とこの同意書2部は、必ず郵送して下さい。FAXでは送らないで下さい。

すでにMTAを締結している場合はご記入下さい。

* 「生物遺伝資源提供同意書」2部を郵送して下さい。到着後、正式受付となります。ただし、上記のMTAとリソース名、課
部名、利用者(機関・会社名、住所、研究責任者、機関長)が同一であれば提出の必要はございません。

** Restrictionが b または c の細胞は「提供承諾書」を添えてお申込下さい。

*** 「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」に該当する遺伝子組換え生物の場合は、

(1) 遺伝子組換え生物等の移動承認番号、(2) 課部名、(3) 研究責任者、(4) 承認

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1 (受付日 年 月 日)
独立行政法人理化学研究所 (受付番号)

・ 細胞材料提供承諾書(書式 C-0002)

20070507

RIKEN BRC CELL BANK

(書式 C-0002)

細胞材料提供承諾書

申込日 年 月 日

独立行政法人理化学研究所 バイオリソースセンター
細胞材料開発室 御中

生物遺伝資源同意書と同じ記載をして下さい。

<<利用者>>
 住所：〒
 機関名・会社名：
 機関長：
 研究責任者：
 担当者：
 E-mail：
 TEL：
 FAX：

利用者は、下記の条件で寄託者から提供承諾を受けたことを理研BRCに報告します。

記

課題名 (生物遺伝資源提供同意書と同一内容でご記入下さい。)
リソース名 (No.) 同一の提供条件の場合は、この書式で複数の細胞材料の承諾を得ることができます。
提供条件 (カタログ及びホームページに掲載された条件をご記入下さい。) カタログ、ホームページに記載された提供条件を文言でご記入下さい。

《寄託者》

寄託者は、上記の条件で利用者への提供を承諾いたします。

住所：〒
 機関名・会社名：
 研究責任者：
 担当者：

申込日が承諾した日付より6ヶ月以上たった場合は、再度、承諾を得て下さい。

承諾した日付をご記入下さい。

年 月 日

なお、本承諾書の有効期限は、本書の日付から6ヶ月以内とします。

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1 (理研記入)
 独立行政法人理化学研究所 茨波研究所 (受付日 年 月 日)
 研究推進部 企画課 (受付番号)
 (User No.)

・ 生物遺伝資源提供同意書(書式 C-0003)

この同意書は必ず2部作成し、2部ともBRCに送付して下さい。
センター長印押印後、1部お返しいたします。

091020
細胞
(書式-0003)

RIKEN BRC Cell Bank

機関と研究責任者をご記入ください。
提供を受ける細胞材料名をご記入下さい。
下記の「4」の提供制限が同じものは、複数記入できます。

(以下「利用者」という。)は、
理研BRCが利用者へリソース
提供を受ける細胞材料名に該当するRCB No.をご記入下さい。

(理研BRC細胞材料開発室固有記号No.として特定されるものであり、また由来する産物を含むものとする。以下「本件リソース」という。)を
提供するにあたり、このリソースを用いる研究課題名をご記入下さい。
課題名は、ある程度の内容がわかるもの(論文、学会発表等のタイトル程度)として下さい。

- 理研BRCは、このリソースを用いる研究課題名を、その実用化の発展のため、生物資源として公開する。
- ①利用者は、本件リソースを、次の課題に利用する。

課題名: _____
使用目的: _____

- ②利用者が、本件リソースを上記と連絡する。

- 利用者は、本件リソースを、ヒト(治療、診断、検査)に利用する。
- 利用者は、本件リソースの利用に当たって、理研BRCカタログ及びホームページに掲載されている、寄託者が指定した次の事項を遵守する。

091020
細胞
(書式 C-0003)

同意年月日: 西暦 年 月 日

理研IR
機関名: 空欄をお願いいたします。
締結日はこちらで記入いたします。

所在地: 〒305-0074
茨城県つくば市高野台3-1-1

センター長: 小橋 裕一 印

利用者
機関名: 「機関長」と「研究責任者」の所在地が異なる場合は両方の所在地をご記載下さい。

所在地: 〒

担当者: 前述の「利用者」をどちらかにご記入下さい。「担当者」と「研究責任者」が同一の場合は、両方に署名、捺印をお願いいたします。

研究責任者: リソースが遺伝子組換え生物の場合は、「遺伝子組換え実験承認書」の実験責任者を「研究責任者」にご記入下さい。

機関長: 公印を押印下さい。大学の場合は学部長、研究所の場合は所長を想定いたしております。また、既に知的所有権に関する管理責任者が任命されている機関では、管理責任者の署名もしくは捺印をお願いします。

(理研記入)
(受付日 年 月 日)
(受付番号)

3/3

2. オンライン入力による提供依頼

一般細胞(RCB)については、オンラインによる書類の作成が可能です。カタログの情報解析室のページおよび下記のホームページをご参照下さい。

http://www.brc.riken.jp/lab/cell/rcb/houto_online.shtml

補足:ホームページでの検索方法

1. ホームページによる検索

http://www.brc.riken.jp/lab/cell/

The screenshot shows the homepage of the RIKEN BRC CELL BANK. On the left side, there is a vertical navigation menu. The item '細胞材料検索' (Cell Material Search) is highlighted with a red arrow and the word '検索' (Search) written next to it. The main content area contains a search bar with the text '検索' and a search button. Below the search bar, there is a list of cell lines and a table of mailing dates. The table has two columns: '細胞発送予定日' (Cell Mailing Date) and '更新' (Update). The dates listed are 平成21年 (2009), 平成22年 (2010), and 平成23年 (2011).

2. 検索方法

リソースを検索する場合は、左のメニューの「細胞材料検索」をクリックして下さい。

The screenshot shows the 'CELL SEARCH SYSTEM' page. The page has a header with the title 'CELL SEARCH SYSTEM' and a subtitle '検索' (Search). Below the header, there is a search bar with the text '検索' and a search button labeled '検索'. To the right of the search bar, there is a list of cell lines with checkboxes next to them. The list includes: ヒトiPS細胞 (HIPS), ヒトES細胞 (HES), 動物iPS細胞 (AIPS), 動物ES細胞及び生殖細胞由来の多能性幹細胞 (AES), The Gene-trap & Mouse ES cell clones, 日本人由来不死化細胞株 (JBEY), 研究用ヒト胎盤血材料 (HBC, HCB), 研究用ヒト胎盤系幹細胞 (HMS), ヒト由来細胞 (RCT), 細菌・真菌コロネクション細胞 (BSC), and 後藤コロネクション細胞 (GAC).

すべての細胞材料が検索対象です。

3. キーワードを入力

(1) キーワードをご入力下さい。

例:「iPS」と入力した場合

Items 6		Search
細胞番号	細胞名	
APS0001	iPS-MEF-Ng-20D-17	
APS0002	iPS-MEF-Ng-178B-5	
APS0003	iPS-MEF-Fb/Ng-440A-3	
APS0004	iPS-MEF-Ng-492B-4	
HPS0001	201B7	
HPS0002	253G1	

(2) さらに条件を絞り込む場合。

例:「iPS human」

Items 2		Search
細胞番号	細胞名	
HPS0001	201B7	
HPS0002	253G1	

TOP

View Cart

Search キーワード iPS human

検索

クリア

* 初めから、スペース(半角)で区切った検索も可能です。

* 各細胞の特性(日)に含まれる単語であれば、日本語での検索も可能です。

例:「iPS human 4 因子」と入力した場合

Items 1		Search
細胞番号	細胞名	
HPS0001	201B7	

(3) 細胞番号クリックで詳細情報が表示されます。

HPS0001 : 201B7

特性(日)	ヒト人工多能性幹 (iPS) 細胞株。レトロウイルスベクターにより4因子 (Oct3/4, Sox2, KH4, c-Myc) を導入。
動物種	human

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
小幡裕一、 中村幸夫	組織のバンキングと ディストリビューショ ン	町野 朔	バイオバンク構 想の法的・倫 理的検討	上智大学 出版	東京	2009	141-151
中村幸夫	幹細胞バンクの活 用		幹細胞の分化 誘導と応用	株式会社 NTS	東京	2009	144-155
中村幸夫	iPS細胞と細胞の品 質管理	小幡裕一、 城石俊彦、 芹川忠夫、 田中啓二、 米川博通	生物機能モデ ルと新しいリソ ース・リサーチ ツール	エル・ア イ・シー社	東京	2011	659-671

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Andrews, P.W., Arias-Diaz, J., Auerbach, J., Alvarez, M., Ahrlund-Richter, L., Baker, D., Benvenisty, N., Ben-Josef, D., Blin, G., Borghese, L., Borstlap, J., Bruckler, K., Brustle, O., Buckler, R., Carter, P., Campbell, C., Choo, A., Chen, W., Collins, D., Coleman, A., Crombie, C., Crook, J., Cypess, R., De Sousa, P., Dhawan, J., Douay, L., Dvorak, P., Dyke, T., Eriksson, L., Firpo, M., Fitzgerald, C., Glover, C., Gokhale, P., Greene, M., Han, H.-Y., Hampl, A., Healy, L., Hei, D., Holm, F., Hovatta, O., Hunt, C., Hwang, S.-M., Inamdar, M., Isasi, R., Iskovitch-Eldor, J., Jessie, N., Kim, D.-W., Kirzner, R., Kitpongsang, S., Knowles, B., Kuo, H.-C., Laughlin, M., Lavon, N., Ludwig, T., Lakovics, M., Lee, D.-R., Macaulay, J., McKay, R., Menasche, P., Menendez, P., Michalska, A., Mileikowska, M., Minger, S., Mishra, G., Moody, J., Montgomery, K., Morris, C., Mummery, C., Nagy, A., Nakamura, Y., Nakatsuji, N., Nishikawa, S.-I., Nierras, C., Oh, S., Oh, S.K., Olson, P., Otonkoski, T., Patole, M., Park, H.-S., Pei, X., Pera, M., Puceat, M., Rajala, K., Reubinoff, B., Robbins, A., Rooke, H., Rumayor, V., Scotmann, H., Sherlock, J., Simon, C., Stacey, G., Sipp, D., Skinner, R., Smith, D., Stefanovic, S., Strehl, R., Taft, R., Takahashi, T., Talib, S., Terstegge, S., Turner, R., Tuuri, T., Yu, J., Zandstra, P., Zapata, A., Zeng, F., and Zhou, Q.	International Stem Cell Banking Initiative. Consensus guidance for banking and supply of human embryonic stem cell lines for research purposes.	<i>Stem Cell Reviews</i>	5	301-314	2009

Nakamura, Y.	<i>In vitro</i> production of transfusable red blood cells.	<i>ISBT Science Series</i>	4	383-389	2009
Danjoh, I., Sone, H., Sekiyama, S., Mizukoshi, K., Noda, N., Imura, E., Nagayoshi, M., Saijo, K., Hirayama, T., and Nakamura, Y.	Is parainfluenza virus a threatening virus for human cancer cell lines?	<i>Hum. Cell</i>	22	81-84	2009
Tamagawa, T., Ishihata, I., Sato, K., and Nakamura, Y.	Induced <i>in vitro</i> differentiation of pancreatic-like cells from human amnion-derived fibroblast-like cells.	<i>Hum. Cell</i>	22	55-63	2009
Ishigaki, T., Sudo, K., Hiroyama, T., Miharada, K., Ninomiya, H., Chiba, S., Nagasawa, T., and Nakamura, Y.	Human hematopoietic stem cells can survive <i>in vitro</i> for several months.	<i>Advances in Hematology</i>	2009	ID936761	2009
Nakamura, Y.	Bio-resource of human and animal-derived cell materials.	<i>Exp. Anim.</i>	59	1-7	2010
Nakamura, Y.	Induced pluripotent stem (iPS) cells offer a powerful new tool for the life sciences.	<i>J. Stem Cells Regen. Med.</i>	6	1-8	2010
Dirks, W.G., MacLeod, R.A., Nakamura, Y., Kohara, A., Reid, Y., Mielch, H., Drexler, H.G., and Mizusawa, H.	Cell line cross-contamination initiative: an interactive reference database of STR profiles covering common cancer cell lines.	<i>Int. J. Cancer.</i>	126	303-304	2010

Yamazaki, Y., Akashi, R., Banno, Y., Endo, T., Ezura, H., Fukami-Kobayashi, K., Inaba, K., Isa, T., Kamei, K., Kasai, F., Kobayashi, M., Kurata, N., Kusaba, M., Matsuzawa, T., Mitani, S., Nakamura, T., <u>Nakamura, Y.</u> , Nakatsuji, N., Naruse, K., Niki, H., Nitasaka, E., Obata, Y., Okamoto, H., Okuma, M., Sato, K., Serikawa, T., Shiroishi, T., Sugawara, H., Urushibara, H., Yamamoto, M., Yaoita, Y., Yoshiki, A., and Kohara, Y.	NBRP database: databases of biological resources in Japan.	<i>Nucl. Acids Res.</i>	38	D26-D32	2010
Sudo, K., Yasuda, J., and <u>Nakamura, Y.</u>	Gene expression profiles of cryopreserved CD34 ⁺ human umbilical cord blood cells are related to their bone marrow reconstitution abilities in mouse xenografts.	<i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i>	397	697-7050	2010
Capes-Davis, A., Theodosopoulos, G., Atkin, I., Drexler, H.G., Kohara, A., MacLeod, R.A.F., Master, J.R., <u>Nakamura, Y.</u> , Reid, Y.A., Reddel, R.R., and Freshney, R.I.	Check your cultures! A list of cross-contaminated or misidentified cell lines.	<i>Int. J. Cancer</i>	127	1-8	2010
Fujioka, T., Shimizu, N., Miyoshi, H., and <u>Nakamura, Y.</u>	Establishment of induced pluripotent stem cells from human neonatal tissues.	<i>Hum. Cell</i>	23	113-118	2010
Yoshino, K., Saijo, K., Noro, C., and <u>Nakamura, Y.</u>	Development of a simple method to determine the mouse strain from which cultured cell lines originated.	<i>Interdisciplinary Bio Central</i>	2	Open access journal, doi: 10.4051/ibc.2010.2.4.0014	2010

Nakamura, Y., Hiroyama, T., Miharada, K., and Kurita, R.	Red blood cell production from immortalized pluripotent progenitor cell line.	<i>Int. J. Hematol.</i>	93	5-9	2011
Masuya, H., Makiyama, Y., Kobayashi, N., Nishikata, K., Yoshida, Y., Mochizuki, Y., Doi, K., Takatsuki, T., Waki, K., Tanaka, N., Ishii, M., Matsushima, A., Takahashi, S., Mizoguchi, R., Kozaiki, K., Furuichi, T., Kawaji, H., Wakana, S., Nakamura, Y., Yoshiki, A., Murata, T., Fukami-Kobayashi, K., Mohan, S., Ohara, O., Hayashizaki, Y., Obata, Y., and Toyoda, T.	The RIKEN integrated database of mammals.	<i>Nucl. Acids Res.</i>	39	D861-870	2011
Danjoh, I., Saijo, K., Hiroyama, T., and Nakamura, Y.	The Sonoda-Tajima Cell Collection, a human genetics research resource with emphasis on South American indigenous populations.	<i>Genome Biology and Evolution</i>	Open access journal	doi:10.1093/gbe/evr014	2011
Nakamura, Y.	ES cell-derived erythroid cell lines able to produce mature red blood cells.	<i>InTech "Embryonic Stem Cells-Recent Advances in Pluripotent Stem Cell-Based Regenerative Medicine"</i> (edited by Craig Atwood)	Chapter 15	273-288	2011
Hiroyama, T., Miharada, K., Kurita, R., and Nakamura, Y.	Plasticity of cells and <i>ex vivo</i> production of red blood cells.	<i>Stem Cell Int.</i>	Article ID 195780, open access journal, doi:10.4061/2011/195780		2011